

# 議会改革検討小委員会作業部会 次 第

日時：令和4年12月23日(金)  
議会運営委員会終了後  
場所：議会運営委員会室

- 1 開 会
- 2 本会議におけるペーパーレス会議システムの活用について
- 3 その他 I C Tツールの導入について
- 4 その他
- 5 閉 会

本会議におけるペーパーレス会議システムの利活用等に関する  
検討結果の方向性に基づく答申（案）

**○ ICT利活用推進・実施計画を踏まえた今後の方針について**

京都府も含め社会全体で取り組んでいるペーパーレス化、デジタル化は、そのメリットを府議会の運営や議員活動に活かすために推進していく必要がある。

そのため、府議会の会議においては、適宜ペーパーレス化等を検討し、そこで得られた課題を踏まえながら、慎重かつ迅速に進めていくべきである。

ICTやデジタル技術を活用するメリットが注目され、それらの活用が社会全体で推進される中で、府議会としても、ICT等のメリットを府議会の運営や議員活動に活かし、「議員力」「議会力」の向上や審議の充実等に繋げていく。

（京都府議会ICT利活用推進・実施計画（令和3年3月策定）（以下「実施計画」という。））

**○ 本会議におけるペーパーレス会議システムの利活用について**

議会運営のICT化に関する事項として検討した結果、

- 1 審議の充実等を目的に試行実施されている委員会のペーパーレス運営とは異なり、本会議は、委員会での審議結果を受けた議決の場であり、ペーパーレス運営の効果が少ないこと。
- 2 本会議場におけるWi-Fi等の設備整備には相当の費用が必要であり、その費用に見合うメリットが乏しいこと。
- 3 ペーパーレス運営における情報端末機器は、議員個人が保有する端末を使用することとしているため、公開の場である本会議でのこれら情報端末機器の使用は馴染まないこと。

以上の点から、現段階では、本会議におけるペーパーレス会議システムを直ちに導入する必要はないが、社会情勢の変化や5G等の通信技術の進展を注視しつつ検討していくこととする。

実施計画においては、府議会として①広報・広聴のICT化、②議員活動のICT化、③議会運営のICT化の3つのICT化を着実に進めていくこととしている。本会議におけるペーパーレス会議システムの利活用は、このうち、③議会運営のICT化に関する事項として検討を行ったものである。

**○ その他本会議のICT化について**

本会議上での大型モニター等の導入は、実施計画における広報広聴のICT化の観点から、効果的なICTツールの活用策として費用対効果を見極めながら、今後検討するとともに、社会情勢の変化に伴い、本会議場での情報端末機器の公費導入の検討や情報端末使用のルールづくりを進めてはどうか。

## その他 I C T ツールの導入に向けた調査について（案）

### 1 令和3年度答申（抜粋）

#### ○ 小委員会答申

（緊急事態における京都府議会）活動指針の実効性をより高めるために有効な I C T の活用方法について、令和4年度に検討することとしてはどうか。

#### ○ 作業部会答申

（その他 I C T ツールの導入等について）令和4年度に先進議会や専門業者等の調査も行った上で、具体的な検討を行う。

#### 【令和3年度議員アンケート結果】

その他の I C T 化については、「会議の開催通知等」、「出欠・安否（アンケート機能）」、「スケジュールの共有」といった、事務局からの連絡・調整にかかる事項について進めてはどうかという意見が多かった。

### 2 本調査の趣旨

上記の答申内容を踏まえ、「緊急事態対応」及び「事務局からの連絡・調整」に活用できる I C T ツールについての知見を得るため、専門業者にサービスのプレゼンテーションを依頼する。

### 3 依頼先

- 業者名：サイボウズ株式会社
- 選定理由：同社が提供するグループウェア「サイボウズ office」は複数の都道府県議会において導入事例（※）があり、また、メール・スケジュールの機能や災害時の安否確認の機能を備えているため、昨年度の答申の方向性とも合致するため。  
（※）導入議会 埼玉県、滋賀県、島根県、愛媛県

### 4 実施日程等

- 令和5年1月30日（月）午前11時～12時（会場：議会棟会議室）
- オンラインにより実施